

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

< 23週 > 水痘 - 定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比べてやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

< 麻疹 > 本年第1週からの累積報告数は8,373人
< 腸管出血性大腸菌感染症 > 第23週の報告数は49例



病原体情報
P.5

患者から分離・検出された病原体報告 - Vero毒素産生性大腸菌 / 手足口病 / 無菌性髄膜炎 / 咽頭結膜熱



速報
P.6

2002年春における小中学校でのインフルエンザ様疾患の集団発生とウイルス分離状況 - 熊本県



海外感染症情報
P.7-8

コンゴ共和国で急性出血熱が疑われる疾患の流行 / アラスカの周遊船で流行した胃腸炎 / ヨーロッパでのダニ媒介性脳炎(TBE)患者発生数の変化



感染症の話
P.9-12

黄熱
現在でもアフリカ、南米などで地域的流行が発生しており、旅行者が罹患することもある。



読者のコーナー
P.13



グラフ総覧(23週)
P.14-20



23週のデータ
P.21-28



発生動向総覧

第23週コメント 6月14日集計分

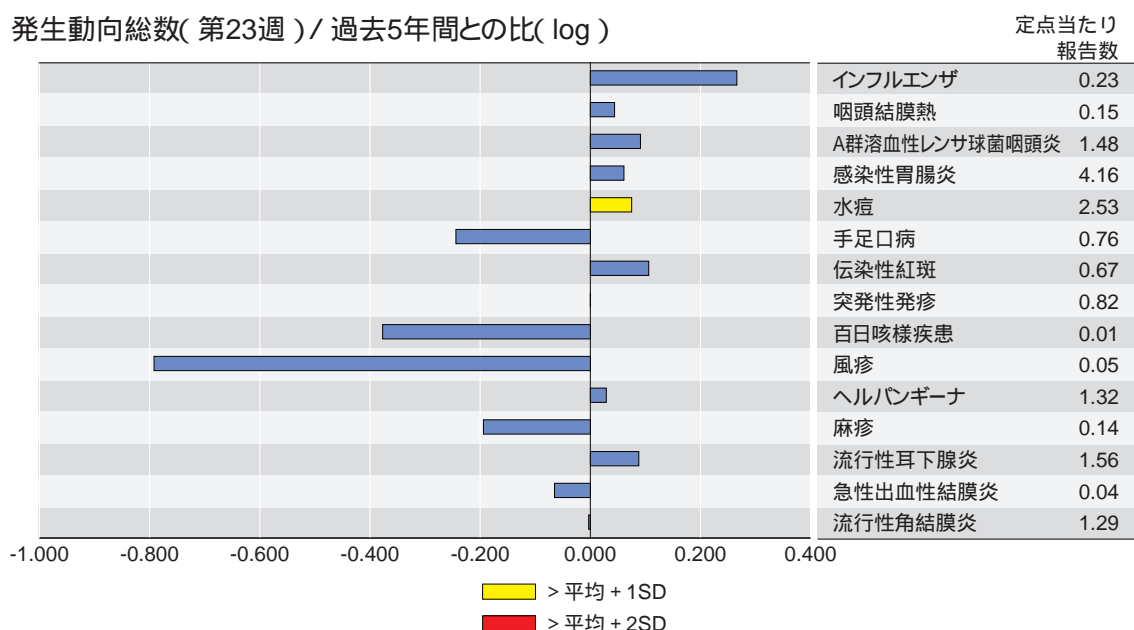
全数報告の感染症

- 1類感染症: 報告なし
- 2類感染症: 細菌性赤痢18例(推定感染地: 国内11例、インド2例、フィジー2例、中国、インドネシア、フィリピン各1例) 腸チフス1例(推定感染地: 不明) パラチフス1例(推定感染地: インド)
- 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症49例(うち有症者34例)
- 4類感染症: アメーバ赤痢4例(推定感染地: 国内3例、その他1例) ジアルジア症2例(推定感染地: 国内1例、ベトナム1例) ツツガムシ病1例、デング熱1例(推定感染地: インドネシア) 破傷風2例(53歳、63歳) レジオネラ症1例
 - 急性ウイルス性肝炎18例
 - A型9例
 - B型6例(感染経路: 性的接触2例、不明4例)
 - C型3例
 - 後天性免疫不全症候群17例(無症候性15例、AIDS 2例)
 - 感染経路: 性的接触15例(異性間6例、同性間8例、異性/同性間1例)、不明2例
 - 梅毒1例(早期顕症1例)
 - マラリア1例(熱帯熱マラリア_推定感染地: マラウイ)

定点把握の対象となる4類感染症(週報対象のもの)

水痘の定点当たり報告数は過去5年間の同時期と比べてやや多く、都道府県別では山形県(5.4)、石川県(4.5)、福島県(4.4)、富山県(4.2)などで多くなっている。他の疾患の定点当たり報告数は、過去5年間の同時期と比べて特別多くなってはいない。しかし、咽頭結膜熱およびヘルパンギーナの定点当たり報告数は引き続き増加しつつあり、都道府県別では前者が滋賀県(0.8)、新潟県(0.6)、後者が新潟県(4.1)、佐賀県(4.0)などからの報告が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は第19週より増加に転じ、都道府県別では山形県(5.4)と宮崎県(5.4)が多くなっている。無菌性髄膜炎の定点当たり報告数は1999～2001年に比べ立ち上がり早く、夏のピークに向かって増加している。手足口病の定点当たり報告数もゆっくりと増加しつつある。インフルエンザの定点当たり報告数は例年並に戻っているが、都道府県別では岩手県(3.4)、沖縄県(3.0)からの報告数が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は小さなピークの折り返しを過ぎたが、都道府県別では京都府(7.8)、宮城県(7.1)などからの報告が多い。麻疹の定点当たり報告数は全体としては例年より低い水準を保っているが、都道府県別で青森県(0.9)からの報告が多くなっている。

発生動向総数(第23週)/過去5年間との比(log)

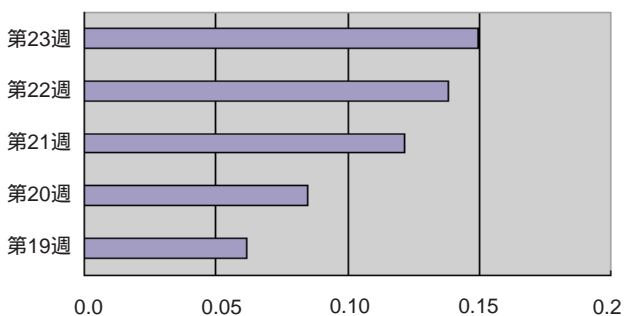


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

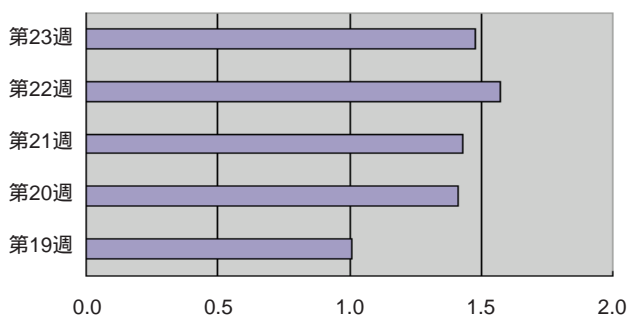
最近の注目疾患－5週間の動き

咽頭結膜熱、手足口病、ヘルパンギーナなどの定点当たり報告数は、いずれも前週に比べて増加している。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、水痘の定点当たり報告数は前週に比べて減少した。伝染性紅斑の定点当たり報告数は、前週と比べて殆んど不変である。

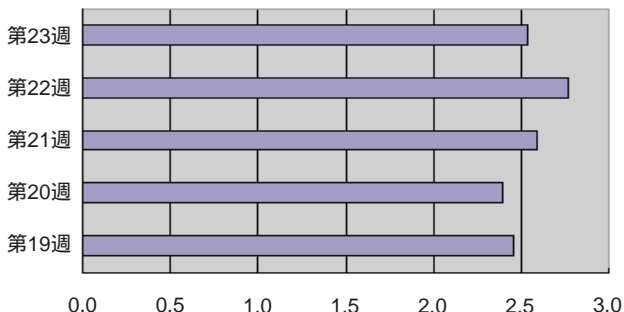
咽頭結膜熱



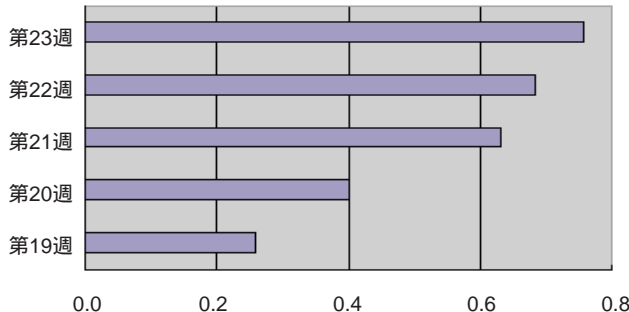
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



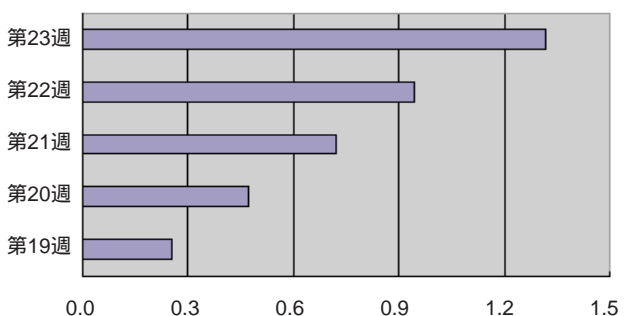
水痘



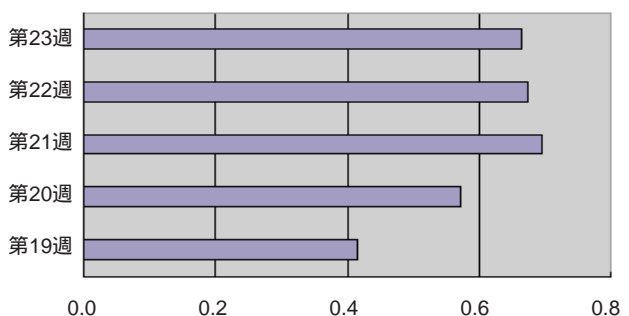
手足口病



ヘルパンギーナ



伝染性紅斑



(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



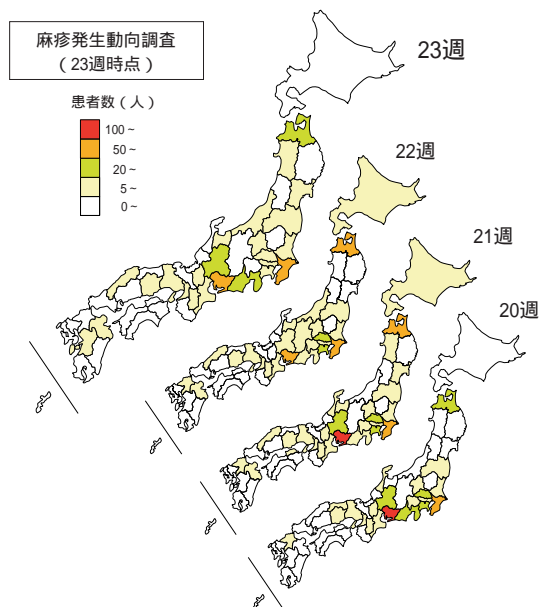
注目すべき感染症

麻疹

麻疹は例年年明けから春にかけて報告が増加し、5月頃流行のピークを迎える。昨年は1992、1993年以来の大きな流行となり、成人麻疹の増加も認められた。2002年の第23週までの発生状況に関しては、全国レベルでの定点当たり報告数は例年にくらべ低くなっている(17ページグラフ参照)。第23週現在定点当たり報告数が多くなっているのは、青森県(0.9)、岐阜県(0.6)、福島県(0.4)、千葉県(0.4)などである。本年第1週からの累積報告数は8,373人である。全国約500の基幹病院定点から報告される成人麻疹は、累積で236人となっている。

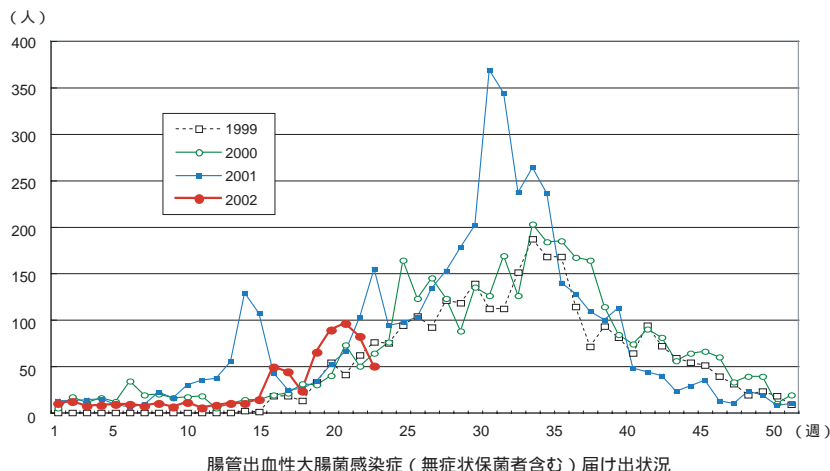
厚生労働省感染症発生動向調査警報発生システムによれば、大きな流行の存在を示唆する「警報」は、愛知県内の4保健所、青森県内の3保健所など全国計19保健所で発生しており、今後4週間以内に警報が生ずる可能性が高い「注意報」は、愛知県内の8保健所、千葉県、東京都内の各3保健所など、全国計36保健所に発生している。これらの全国での「警報」および「注意報」発生保健所数は、いずれも前週に比べてわずかに減少している。

1歳を過ぎた麻疹ワクチン未接種かつ麻疹未罹患者には、ワクチンを早急に接種することが推奨される。



腸管出血性大腸菌感染症

2002年第23週の報告数は49例で(昨年の同時期は139例)、うち有症者数は34名であった。血清型・毒素産生については、O157・VT2が12例で最も多く、次いでO157・VT1+VT2が10例であった。第23週までの累積報告数は627例(昨年の同時期は908例)となっている。累積報告数を都道府県別にみた場合、兵庫県86例、大阪府68例、佐賀県45例、岡山県42例などが多くなっている。また、累積報告数を5歳毎の年齢階級別にみると(0歳、1～4歳、70歳以上は別)、1～4歳141例、5～9歳99例、20～24歳47例、10～14歳44例の順である。





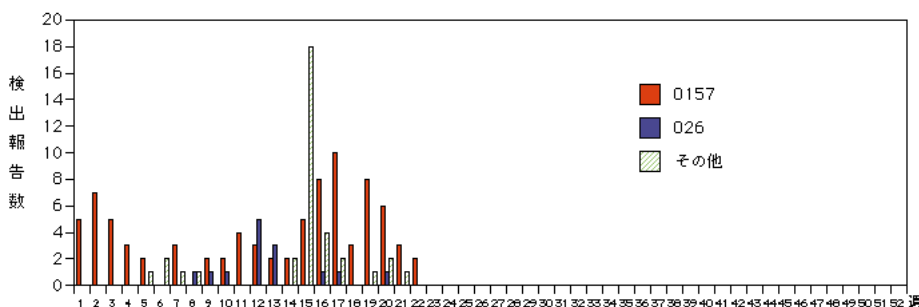
病原体情報

*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。
(2002年6月14日現在報告分)

ヒトから分離されたVero毒素産生性大腸菌 2002年

Vero毒素産生性大腸菌の検出総数は、O157が85件、O26が14件、その他の血清型35件(うち23件は、佐賀県の保育園におけるO121の集団発生)である。最近では、O157が第22週に茨城県から2件報告されている。

週別Vero毒素産生性大腸菌検出報告数、2002年 (病原微生物検出情報: 2002年6月14日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

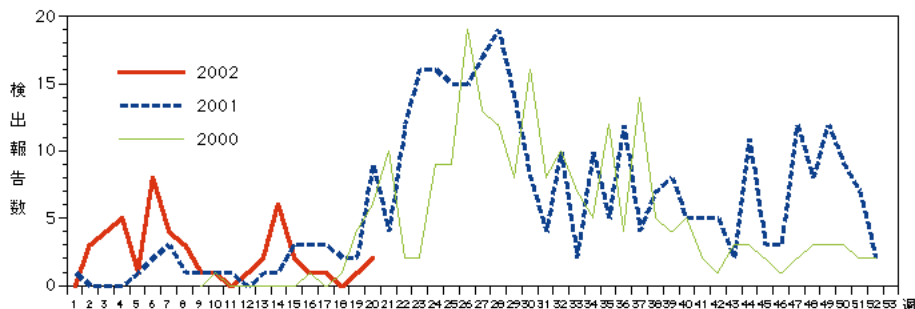


Infectious Agents Surveillance Report

手足口病患者から分離されたウイルス 2002年

コクサッキーウイルスA16型(CA16)42件(福島県11、島根県11、高知県11など)、エンテロウイルス71型(EV71)4件(埼玉県2、神奈川県1、高知県1)の分離が報告されている。CA16は例年第20週前後より報告数が増加し始めるが、今年は年明け早々から報告が目立ち、第2～10週には島根県と福島県からの報告が、第13～15週には高知県からの報告が多かった。

週別CA16分離報告数、年別比較、2000～2002年 (病原微生物検出情報: 2002年6月14日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

無菌性髄膜炎患者から分離されたウイルス 2002年

エコーウイルス(E)71件(13型39、11型22、18型4、30型3、14型2、9型1)、ムンプスウイルス14件、B群コクサッキーウイルス(CB)2件(3型1、5型1)の分離が報告されている。E13は2000年まではほとんど分離報告がなく、わが国では極めて稀な型であったが、昨年は流行があった福島県を中心として報告数が増加した。今年は福井県、大阪府、大阪市などから分離が報告され、47件中39件が無菌性髄膜炎からの分離である。

咽頭結膜熱患者から分離されたウイルス 2002年

アデノウイルス(Ad)2型12件(島根県3、長野県2など)、3型12件(川崎市5、長野県5、愛媛県2)、1型3件(仙台市、新潟県、奈良県)、5型1件(京都市)、6型1件(北九州市)の分離が報告されている。最近では、第22週に札幌市からAd2が1件報告されている。



2002年春における小中学校でのインフルエンザ様疾患の 集団発生とウイルス分離状況 - 熊本県

今季の県下のインフルエンザ届け出患者数は1月をピークに減少傾向を辿っているが、4月中旬～下旬にかけて、県中部および東部の小中学校において集団かぜが発生した。今回、その概要と、それらを含めた感染症発生動向調査における最近のインフルエンザウイルス分離状況を報告する。

2001/02シーズンにおけるインフルエンザの定点当たり報告数でみると、県レベルでは第5週(1/28～2/3)をピークとして減少したが、東部地区(A保健所管内)では17～20週に、中部地区(B保健所管内)では16～17週に再流行があった。この時期に迅速診断キットを保有していた病院はほとんどなかったが、新たに購入してB型と診断した所も少数あった。学年閉鎖は1校で、別の学校では約半数が欠席したため、繰り上げ下校させたクラスもあった。この学校では5～6年生から低学年に患者が広がった。

当研究所に行政検査依頼のあった患者児童20名の主症状は、発熱(38.0～39.6)咳、咽頭痛を伴った上気道炎であった。その他の症状として、関節痛や気管支炎を呈する者もいた。患者検体はすべて咽頭ぬぐい液で、ウイルス分離はMDCK細胞を用いて行った。初代でCPEの不明瞭な検体は2代まで継代培養を行った。その結果、17名の検体からウイルスが分離された。ウイルスの同定は、国立感染症研究所から分与された2001/02シーズン用のフェレット抗血清を用いて、マイクロプレート法による赤血球凝集抑制(HI)試験(0.5%ガチョウ赤血球を使用)で行った。

抗血清A/Moscow/13/98(H1N1)、A/New Caledonia/20/99(H1N1)、A/Panama/2007/99(H3N2)、B/Akita(秋田)27/2001、B/Johannesburg/5/99(ホモ価、各640、160、640、160、320)に対する分離ウイルスのHI価は、17株すべてがB/Akitaに対して1:20で、それ以外の抗血清に対しては1:10未満であったことから、B型インフルエンザウイルスと同定された。また、検体接種後3日目の培養上清について、インフルエンザ抗原簡易検出キット(インフルA・Bクイック「生研」)の使用を試みた結果、HI試験同様、B型インフルエンザウイルス抗原陽性と判定され、早期に見当をつけることができた。

2001年12月～2002年5月末までの感染症発生動向調査におけるインフルエンザウイルス分離株の内訳でみると、シーズン当初はA/H1型が流行し、その後A/H3型の占める割合が増加したものの、3月にはB型が大勢を占め、4月以降はB型のみ分離されている。このことは全国的な傾向と思われるが、5月中旬以降の検体からもウイルスが分離され、下旬にも迅速診断法陽性の検体が搬入されるなど、例年に比べ終息がゆるやかなので、今後の動向に注目したい。

熊本県保健環境科学研究所

田端康二 松尾 繁 西村浩一 甲木和子

熊本県宇城保健所 上村賢吾

熊本県阿蘇保健所 堀内 深

熊本県健康増進課 岡本邦利

(IASR2002年7月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

コンゴ共和国で急性出血熱が疑われる疾患の流行

WHO/CSR 2002年6月11日

コンゴ共和国保健省は、Cuvette Ouest地域のMbomo地区で6名の急性出血熱疑い患者が発生し、そのうち5名が死亡したと報告した。これらの疑い患者は、前回エボラ出血熱が報告された地域と同じ場所で発生した。

保健省とWHOの合同チームが、疑い患者の調査と検体の採取のため現地に到着した。検体は確認のために、ガボンにあるフランスビル国際医学研究センター(CIRMF)に送られる予定である。Ecosystemes Forestiers d'Afrique Centrale(ECOFAC)は、流行地域で野生動物が死んでいないかどうかを調べるために調査チームを派遣した。

アラスカの周遊船で流行した胃腸炎

CDC/TRAVELERS' HEALTH 2002年6月7日

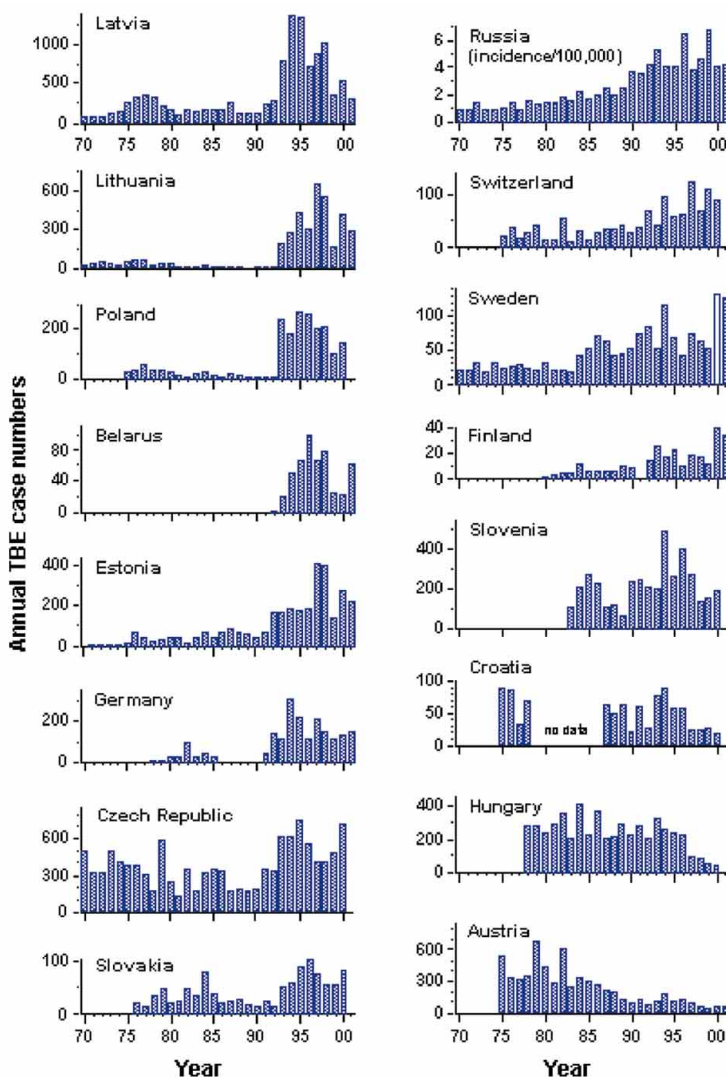
2002年5月26日、周遊船の1隻において胃腸炎が流行したことがCDCに報告された。その船は、ブリティッシュ・コロンビア州のバンクーバーからアラスカ州のSewardへ巡航した。乗船していた2,053名の乗客のうち、少なくとも40名が胃腸症状を呈したと報告された。また、852名の乗組員のうち12名も罹患したと報告された。次の週、アラスカ州のSewardからブリティッシュ・コロンビア州のバンクーバーの船旅で、乗船していた2,040名の乗客のうち88名と39名の乗組員が罹患したと報告された。ノーウォーク様ウイルスが原因であることが検査で確認された。

その流行に対して、CDCの船舶衛生計画(Vessel Sanitation Program)は強力な衛生対策を勧告し、現在それが実施されようとしている。船会社は、乗船していた乗客や乗務員、および船旅を終えて戻ってきた乗客や次にアラスカへの周遊を予定している乗客に、公衆衛生上の注意勧告を出している。CDCは、アラスカ保健社会省とHealth Canadaとの調査活動を調整している。

ヨーロッパでのダニ媒介性脳炎(TBE)患者発生数の変化

Eurosurveillance Weekly 2002年6月6日

ヨーロッパおよびロシアで記録されたダニ媒介性脳炎(TBE)の患者発生数は過去20年間にわたり変化している。しかし、変化の地理的なパターンは一様ではない。最も劇的な変化は1992～93年にラトビア、リトアニア、ポーランド、ベラルーシでの患者発生数の急激な増加であり、エストニア、ドイツ、スロバキア、チェコ共和国でも増加が見られたがそれほどではなかった。ロシアでは1970年代半ば以降、スイス、スウェーデン、フィンランドでは1980年代半ば以降、TBE患者は着実に増加してきた。1997年以降、ノルウェーでも初の患者が発生している。ウイルス流行域の南限部にあるスロベニア、クロアチア、ハンガリーでは患者発生数は変動しており、最近4～5年間低下傾向を示している他は一定の傾向を示していない。唯一広範囲に系統的なワクチン接種を行っているオーストリアでは、1980年代前半以降TBE患者発生数は次第に減少している。



Annual case numbers of TBE in European countries, 1970-2001
 NB - the data for Russia are expressed as incidence / 100,000 population.

Eurosurveillance Weekly 2002年6月6日



感染症の話

黄熱

黄熱はサル、ヒトおよび蚊を宿主とし、蚊によって媒介される疾患である。ヒトが感染すると致死率は高いが、回復すると終生免疫を残す。現在でもアフリカ、南米などで地域的流行が発生しており、旅行者が罹患することもある。

疫学

北緯15度と南緯15度に挟まれたアフリカの熱帯地方には黄熱の浸淫地帯が広がっている(図1)が、例外はジブチ、ソマリア北部、マダガスカルなど媒介蚊(*Aedes*)を駆逐した都市である。アメリカ大陸の熱帯地方では、北はパナマから南緯15度に至るまで広がっており(図2)、雨季に発生が多い。特にアマゾン川流域の熱帯雨林に接した国々で地域流行を起こし、毎年のように患者発生があり、旅行者の感染事例もある。患者発生数は、南米とアフリカを合わせて年間約20万人といわれている。WHOが把握している患者数は表1の如くであるが、必ずしも正確な患者数を把握していない。アジアと太平洋地域には黄熱は存在しないが、少なくとも都市部には、媒介蚊の*Aedes aegypti*が生息するため伝播状況が整っている地域もある。

第二次世界大戦後の大きな流行としては、西パナマで始まりメキシコで終息した中米の流行(1949～1956)、トリニダード(1954)、エチオピア(1960～1962)、セネガル(1965)、ナイジェリア(1969)、ブルキナファソ(1969と1983)、アンゴラ(1971)、シエラレオネ(1975)、ガーナ(1977～1979と1983)、ガンビア(1978～1979)などの流行がある。また、最近の5年間で流行をみた国はボリビア、ブラジル、コロンビア、ペルー、セネガル、リベリア、ガーナ、コートジボワールなどである。



図1. アフリカ大陸における黄熱の浸淫地域



図2. 南アメリカにおける黄熱の浸淫地域
(図1、2 WHO資料)

表1. 黄熱患者数 (WHO発行 Weekly Epidemiological Records より)

年次	1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1998	1999	2000
患者数	4336	2712	295	393	1439	974	424	190	303	208	-
死亡者数	410	751	102	117	491	247	223	89	117	101	-

病原体

黄熱は、日本脳炎と同じフラビウイルス属のウイルスによってひきおこされる。

黄熱の主要な脊椎動物の宿主はサルとヒトである。アフリカでは主にアフリカモドリザルが感染するが、中南米では多種類のサル(リスザル、マーモセット、ホエザル、クモザルなど)が感染し、感染した場合それらのサルの致命率は高い。

蚊は媒介動物であり、また保有宿主でもある。霊長類嗜好性の *Aedes* 属(主としてアフリカ) *Haemagogus* 属(主としてアメリカ大陸)などのいろいろな種が関与するが、*Aedes aegypti* が主たるものである。したがって、日本脳炎とは媒介蚊が異なる。節足動物中でのウイルスの増殖には4～10日を要し、それ以前には感染力はない。

臨床症状

【潜伏期】通常3～6日である。偶発的な実験室内感染では、10～13日とより長い潜伏期の例が報告されている。

【軽症黄熱】発熱と頭痛が突然出現するが、鼻カタル症状のない点を除けばインフルエンザに類似している。症状は頭痛、発熱、悪心・嘔吐、結膜充血、蛋白尿などであるが、1～3日で回復する。

【重症黄熱】臨床経過は感染期、緩解期、中毒期の3段階に明確に分けられるのが特徴である。緩解期はわずか数時間程度である。発病は頭痛、眩暈、高熱で突然始まり、第2病日までにはFagetの徴候“高熱にもかかわらず脈拍数は48～52/分の徐脈”が現われる。黄熱の古典的3徴候は、黄疸、出血(鼻出血、歯肉出血、下血、子宮出血)、蛋白尿(高度の蛋白尿であっても浮腫・腹水をきたすことは稀)である。その他の症状として、嘔吐、結膜充血、顔面紅潮、せん妄などがある。

【検査所見】病初期には進行性の白血球減少(主として好中球の減少)がみられるが、第10病日までには正常化する。血小板数は正常または減少する。黄疸がある症例では凝固時間、プロトロンビン時間、部分トロンボプラスチン時間などが顕著に延長する。総ビリルビン(直接ビリルビン)の増加、GOTの顕著な増加(特に黄疸例)もみられる。脳脊髄液は正常である。

病原診断

ウイルス分離は発症後3日以内に採取された血液検体から最もよくなされる。検体を蚊の培養細胞またはオウカの胸部に接種するか、あるいはPCR法を用いて遺伝子を検出する。

血清学的検査としては、ペア血清を用いたブラック減少中和試験、黄熱IgM抗体の検出などが特異的な検査法である。ただし、中和試験は判定に時間がかかる(約1週間)のが欠点である。

治療・予防

治療としては対症療法のみである。発病すれば致命率は20%と高い。したがって、ワクチン接種による予防が最も重要である。

黄熱ワクチンのワクチン株は、Max Theilerが、1927年にAsibiという名の患者から分離された黄熱ウイルスを種々の培養初代細胞で頻回継代し、最終的に鶏胎児胚細胞で増殖させて弱毒化したものである。これを発育鶏卵に接種して弱毒生ワクチンが作られる。実際に日本で使用されているワクチンは米国Connaught社から輸入したものである。これは凍結乾燥品であり、使用直

表2. 黄熱ワクチン接種機関

	住 所	電 話
検疫所		
小樽検疫所	小樽市港町5-3 (小樽港湾合同庁舎)	0134-23-4162
仙台検疫所	塩釜市貞山通り3-4-1 (塩釜港湾合同庁舎)	022-367-8101
成田空港検疫所	成田市古込1-1 (第2旅客ターミナルビル)	0476-34-2310
東京検疫所	東京都江東区青海2-56 (東京港湾合同庁舎8F)	03-3599-1515
横浜検疫所	横浜市中区海岸通1-1 (横浜第2港湾合同庁舎)	045-201-4456
新潟検疫所	新潟市竜が島1-5-4 (新潟港湾合同庁舎)	025-244-6569
名古屋検疫所	名古屋市港区築地町11-1	052-661-4131
大阪検疫所	大阪市港区築港4-10-3 (大阪港湾合同庁舎)	06-6571-3522
関西空港検疫所	泉南郡田尻町泉州空港中1番地 (関西空港CIQ合同庁舎)	0724-55-1282
神戸検疫所	神戸市兵庫区遠矢浜町1-1	078-672-9653
広島検疫所	広島市南区宇品海岸3-10-17 (広島港湾合同庁舎)	082-251-1836
福岡検疫所	福岡市博多区沖浜町1-22 (福岡港湾合同庁舎)	092-291-3585
福岡検疫所 鹿児島検疫所 支所	鹿児島市泉町18-2-31 (鹿児島港湾合同庁舎)	099-222-8670
那覇検疫所	那覇市港町2-11-1 (那覇港湾合同庁舎)	098-868-1674
日本検疫衛生協会		
横浜診療所	横浜市中区山下町2番地 (産業貿易センタービル3F)	045-671-7041
東京診療所	東京都千代田区丸の内1-8-2 (第一鉄鋼ビル5F)	03-3201-0848
その他		
国立仙台病院	仙台市宮城野区宮城野2-8-8	022-293-1111

表3. 国内に黄熱汚染地域をもつ国 (2002年1月17日現在)

アフリカ:	アンゴラ、ベニン、ブルキナファソ、カメルーン、ガボン、ガンビア、ガーナ、ギニア、リベリア、ナイジェリア、シエラレオネ、スーダン、コンゴ民主共和国(旧ザイール)、コートジボワール
南アメリカ:	ボリビア、ブラジル、コロンビア、エクアドル、仏領ギアナ、ペルー、ベネズエラ

前に添付の生理食塩水に溶解して0.5mlを皮下注射する。国内で黄熱ワクチンの接種が行われている施設は表2のごとくである。

黄熱ワクチンは、歴史的・世界的に非常に副反応の少ない安全性の高いワクチンとして知られている。しかし、発育鶏卵に接種して作られているので、卵アレルギーでは禁忌である。また、2001年にCDCから7例の重い副反応(6例が死亡)について、2001年には雑誌「ランセット」にやはり14例(3例は死亡)の重大な副反応に関する報告がなされた。臨床症状は発熱、頭痛、筋痛症、肝機能障害、呼吸不全、意識障害(錯乱)、多臓器不全などであった。

黄熱の汚染地域を有する国に入国するときは、ワクチンの接種証明書を求められることがある。現在、接種が要求される国は表3のごとくであるが、最新の情報は渡航前に国内の検疫所(表2)に問い合わせることが勧められる。

感染症法における取り扱い

黄熱は4類感染症全数把握疾患に定められており、診断した医師は7日以内に最寄りの保健所に届け出る。報告のための基準は以下の通りである。

診断した医師の判断により、症状や所見から当該疾患が疑われ、かつ、以下のいずれかの方法によって病原体診断や血清学的診断がなされたもの

- ・病原体の検出
例、ウイルスの分離など
- ・病原体の遺伝子の検出
例、血液からのPCR法による検出など
- ・病原体に対する抗体の検出
例、黄熱IgM抗体の検出
ペア血清を用いたブラック減少中和試験など

(国立感染症研究所ウイルス第一部 高崎智彦)



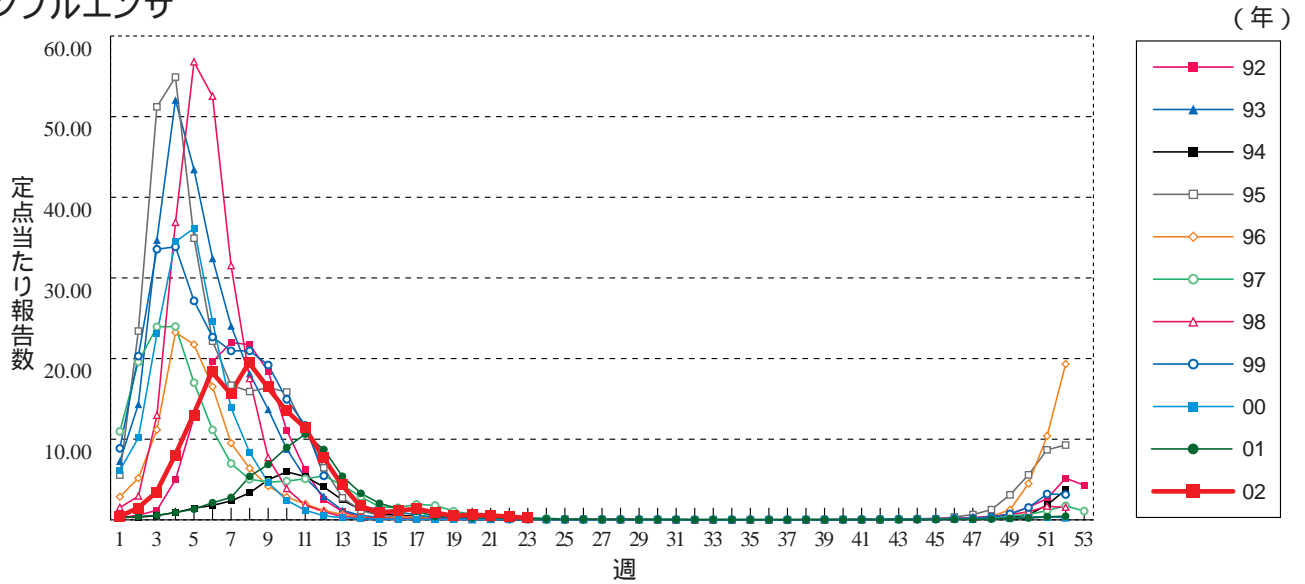
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-Q:をつけてこちらまでEメールでどうぞ。

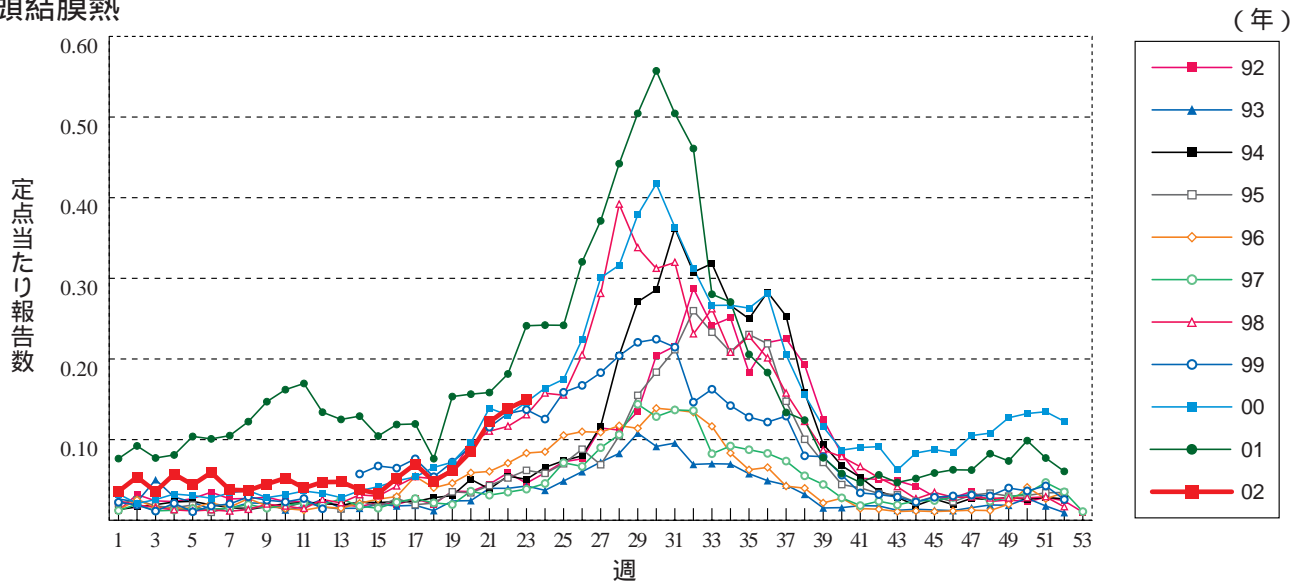
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(23週)

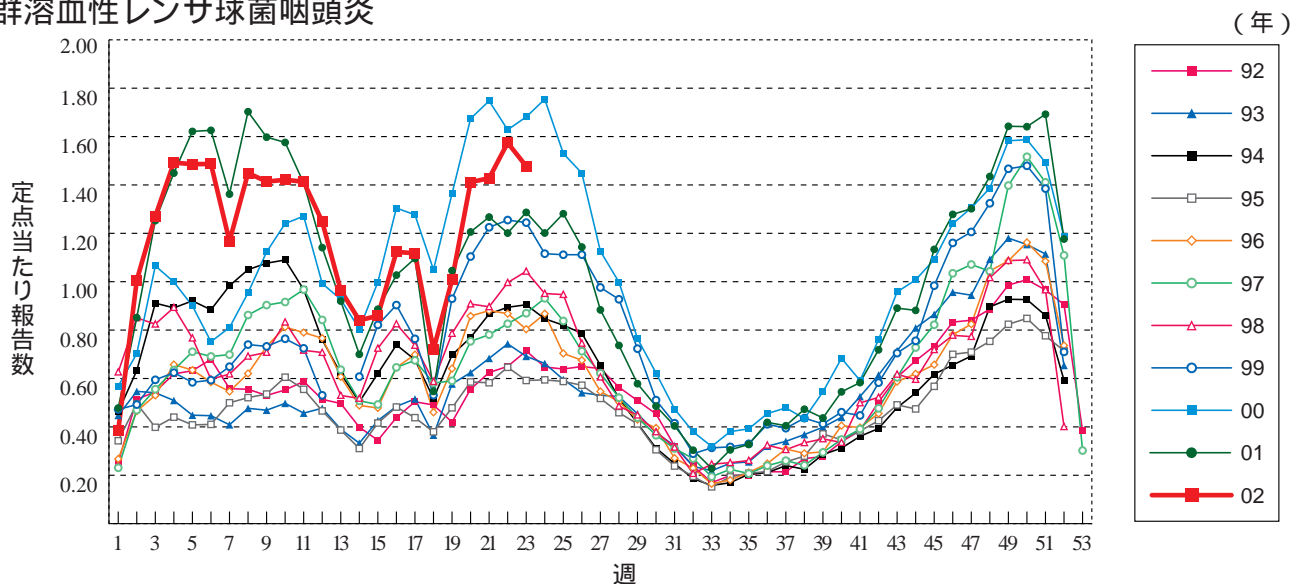
インフルエンザ



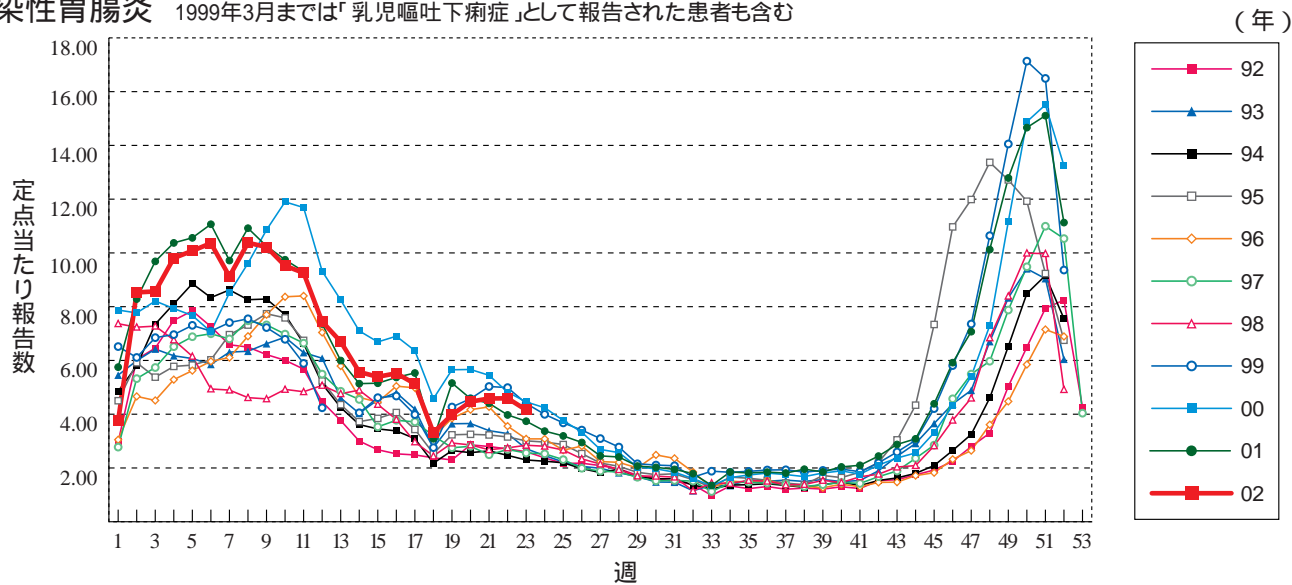
咽頭結膜熱



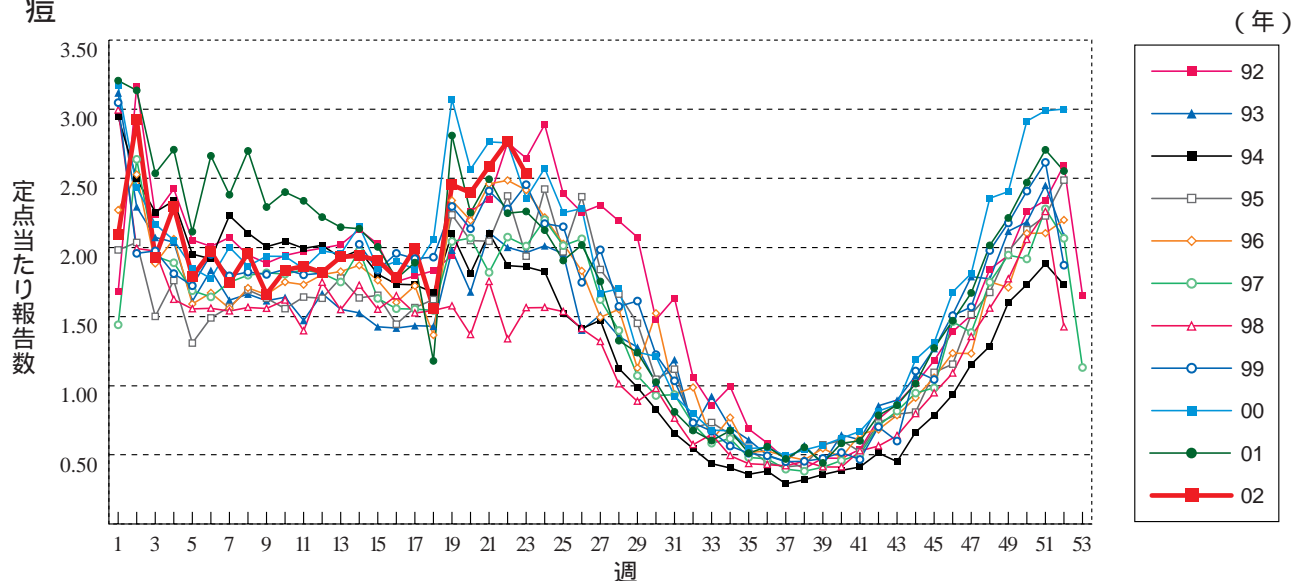
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



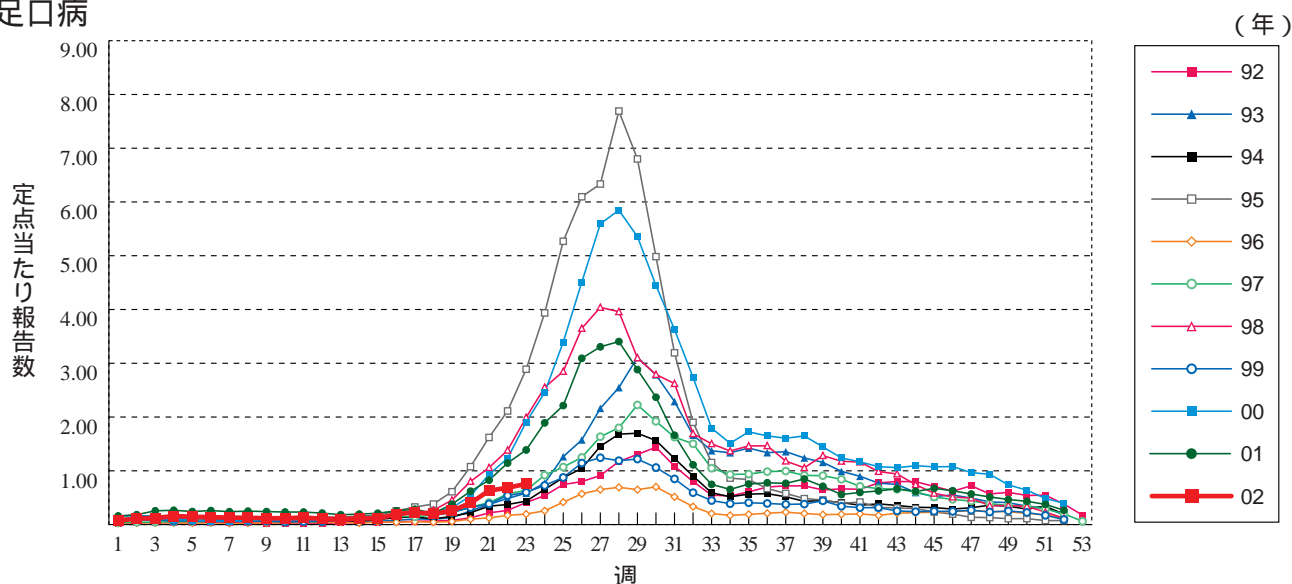
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



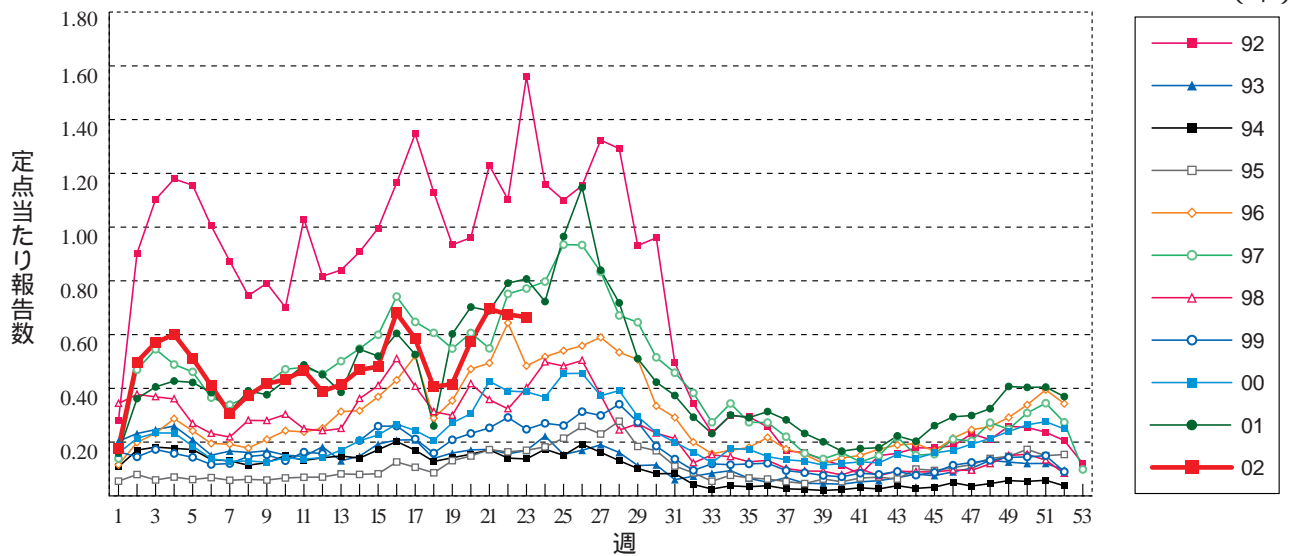
水痘



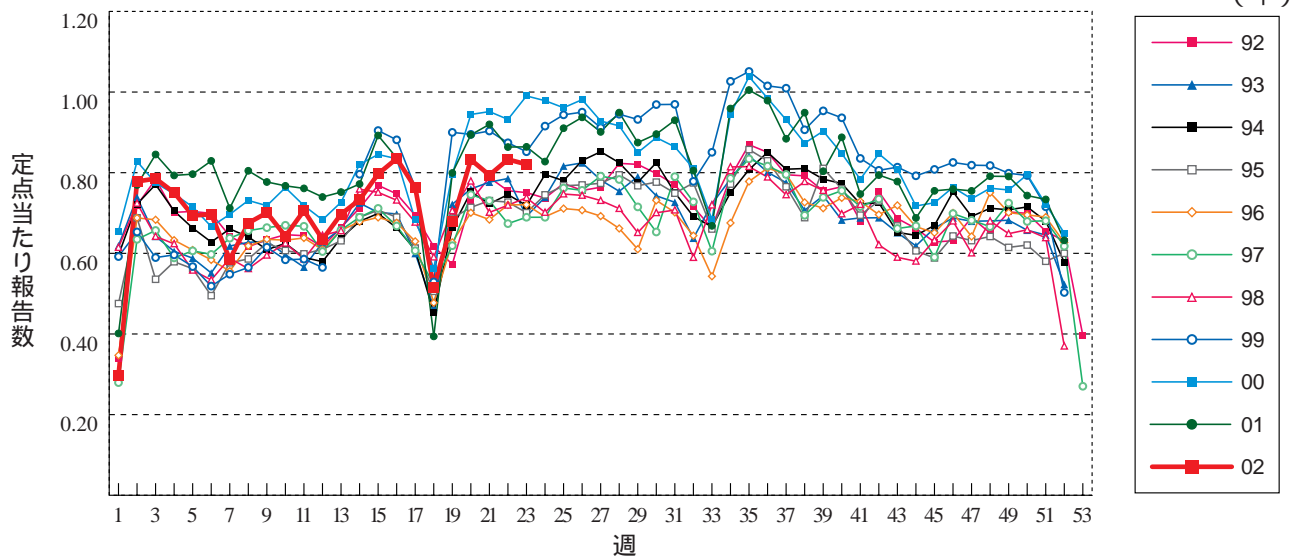
手足口病



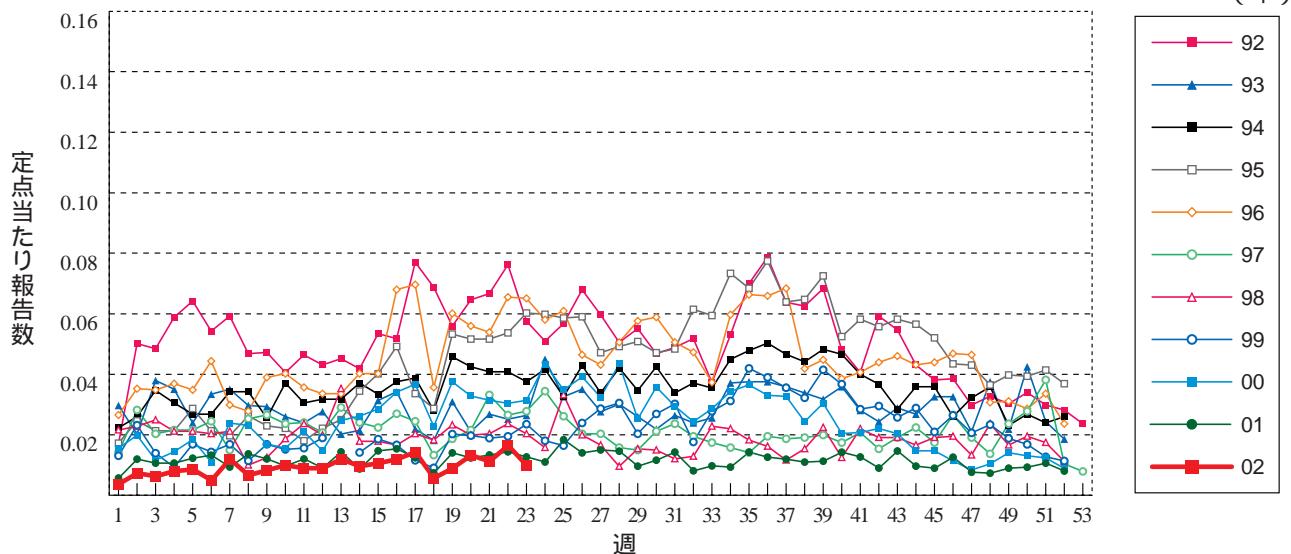
伝染性紅斑



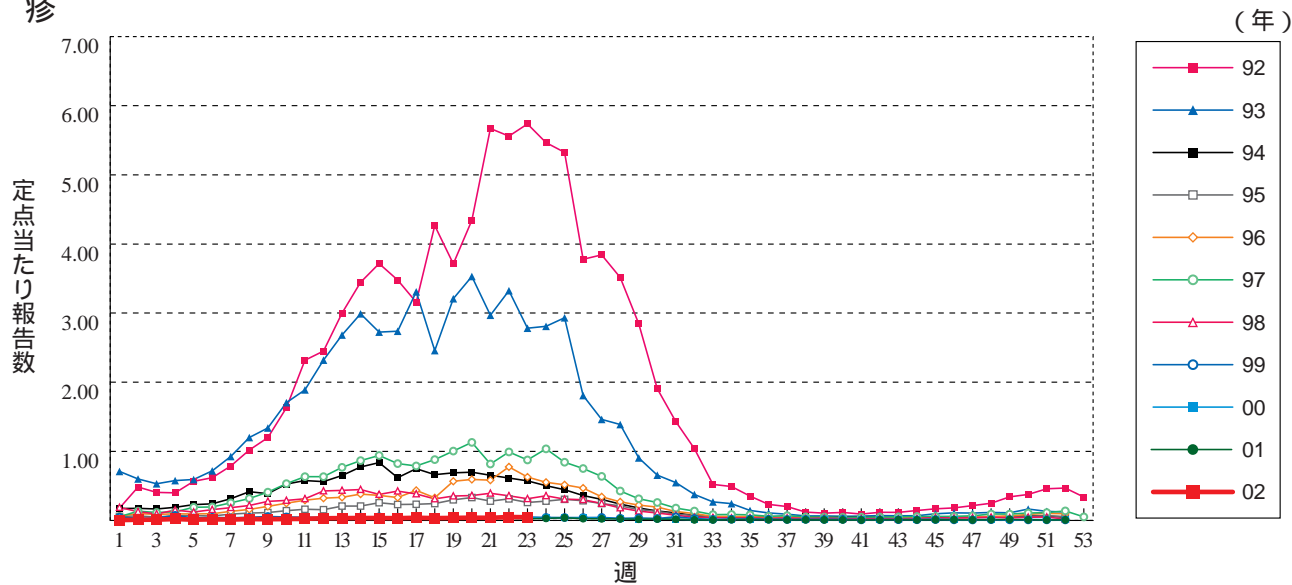
突発性発疹



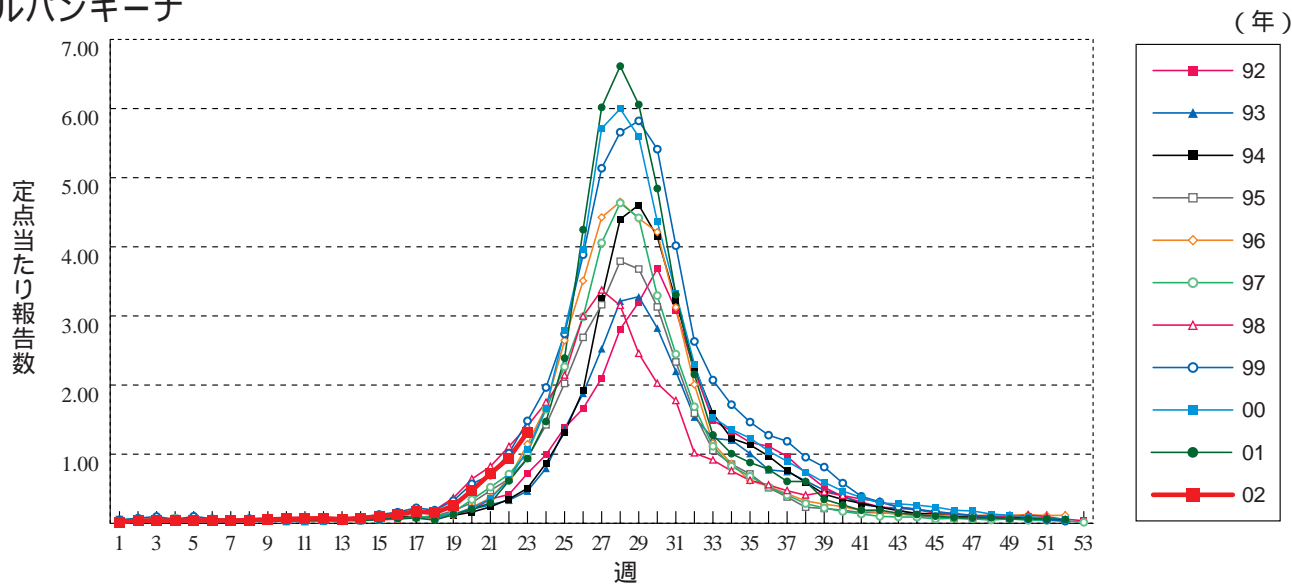
百日咳



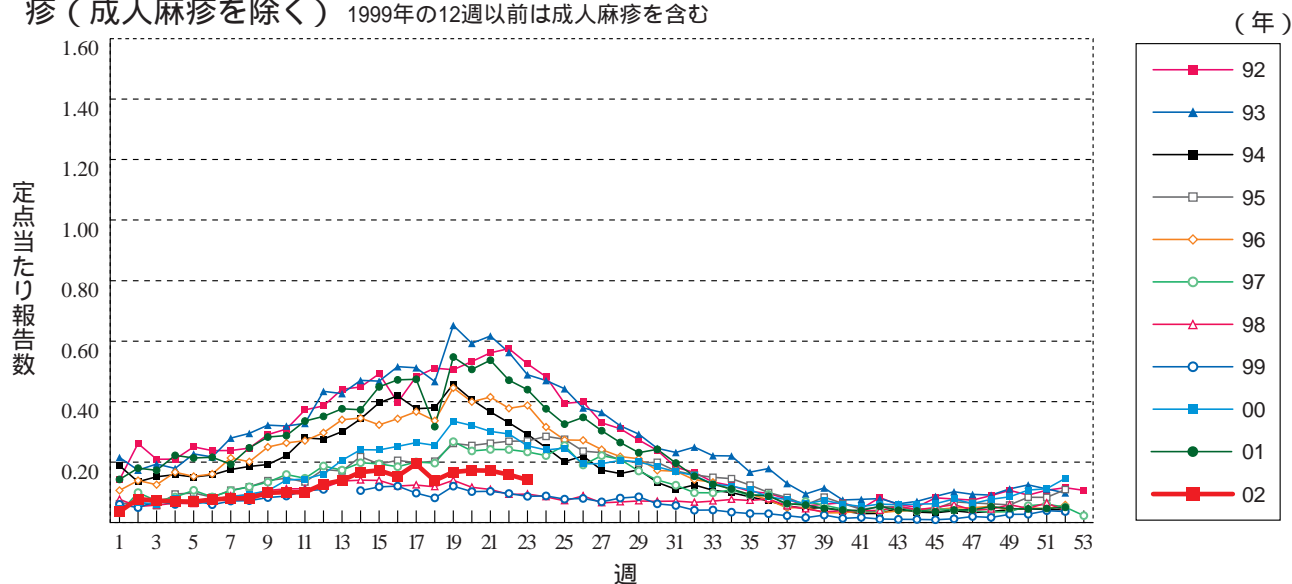
風 疹



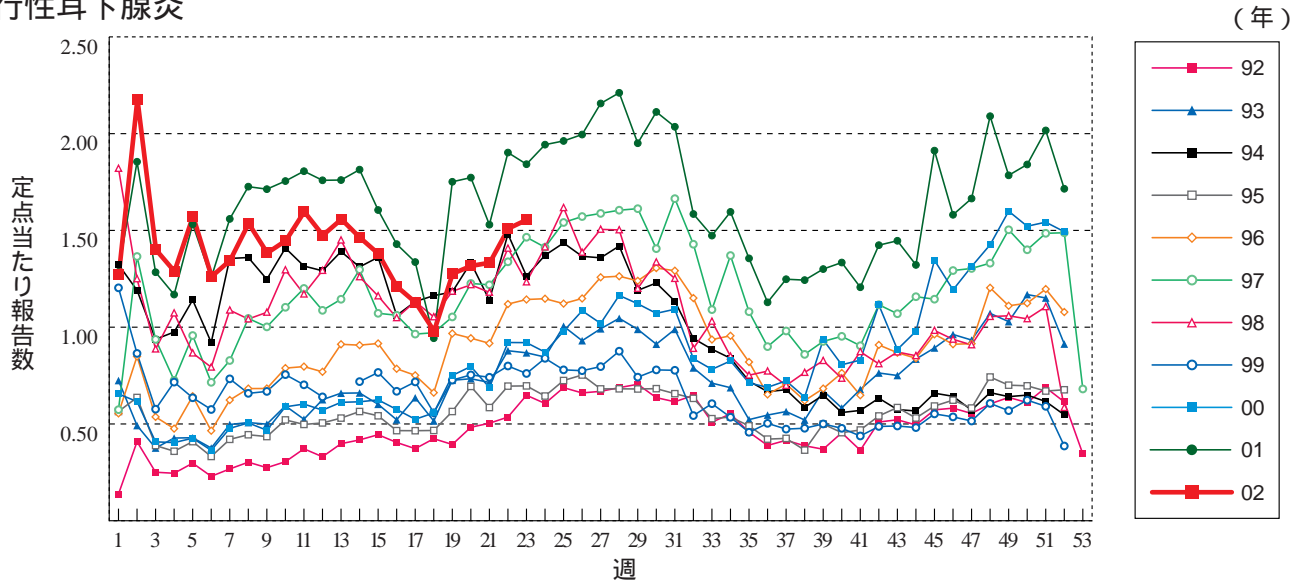
ヘルパンギーナ



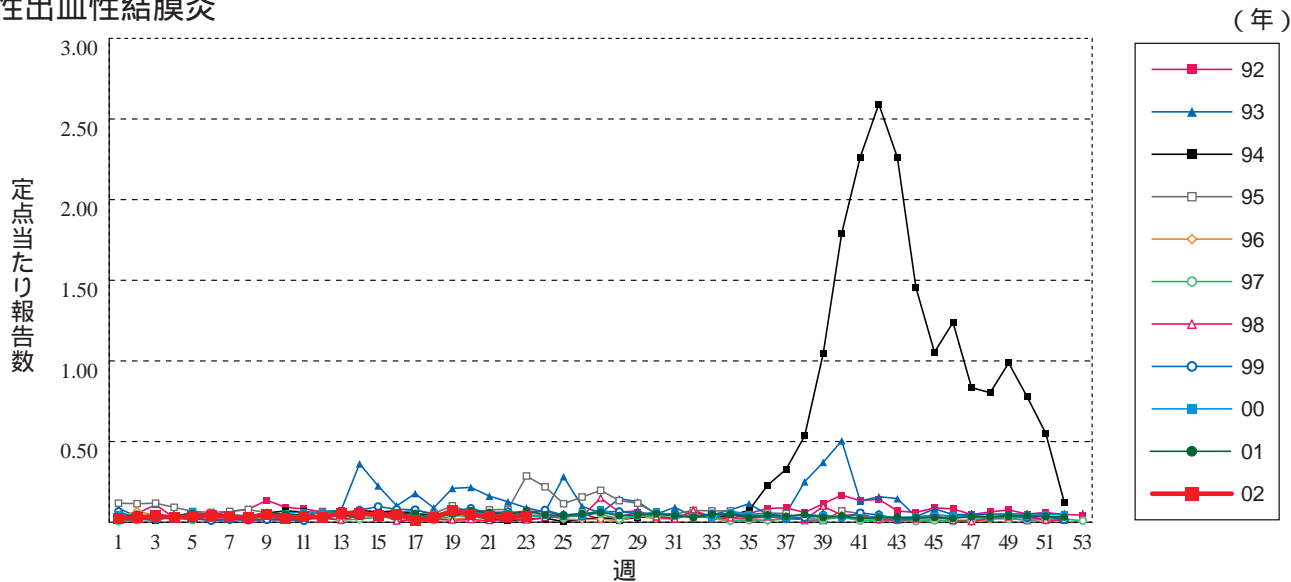
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



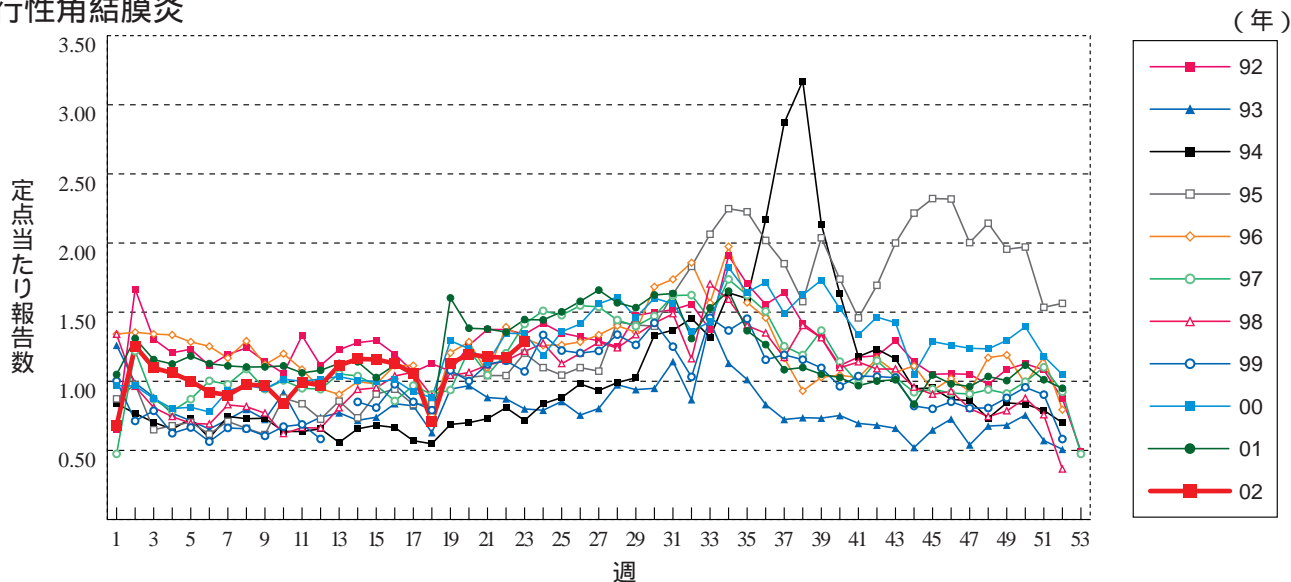
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

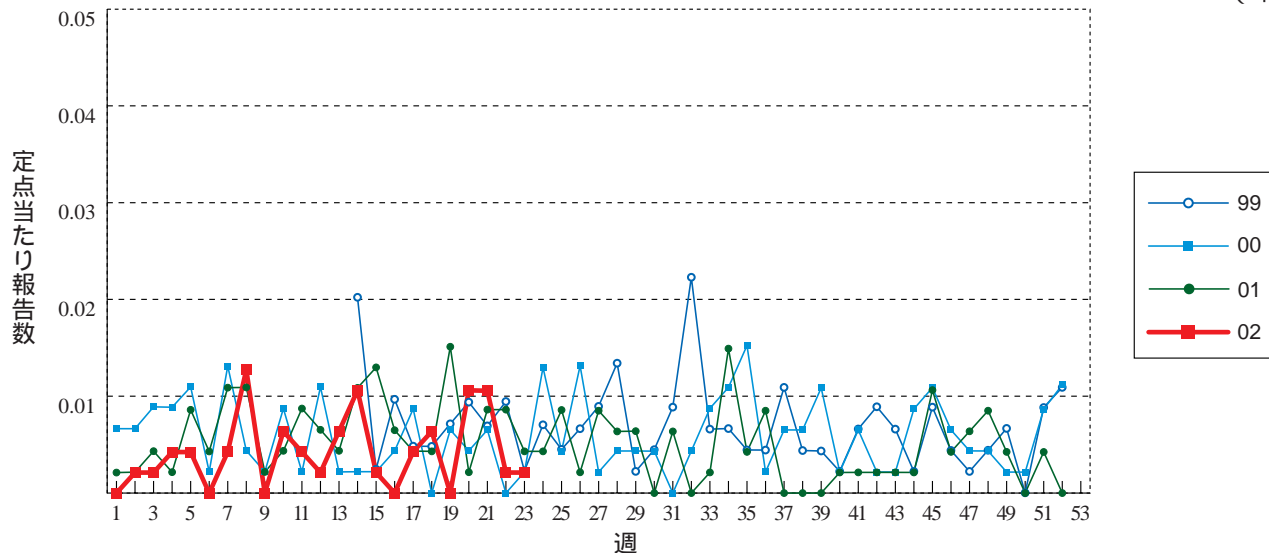


流行性角結膜炎



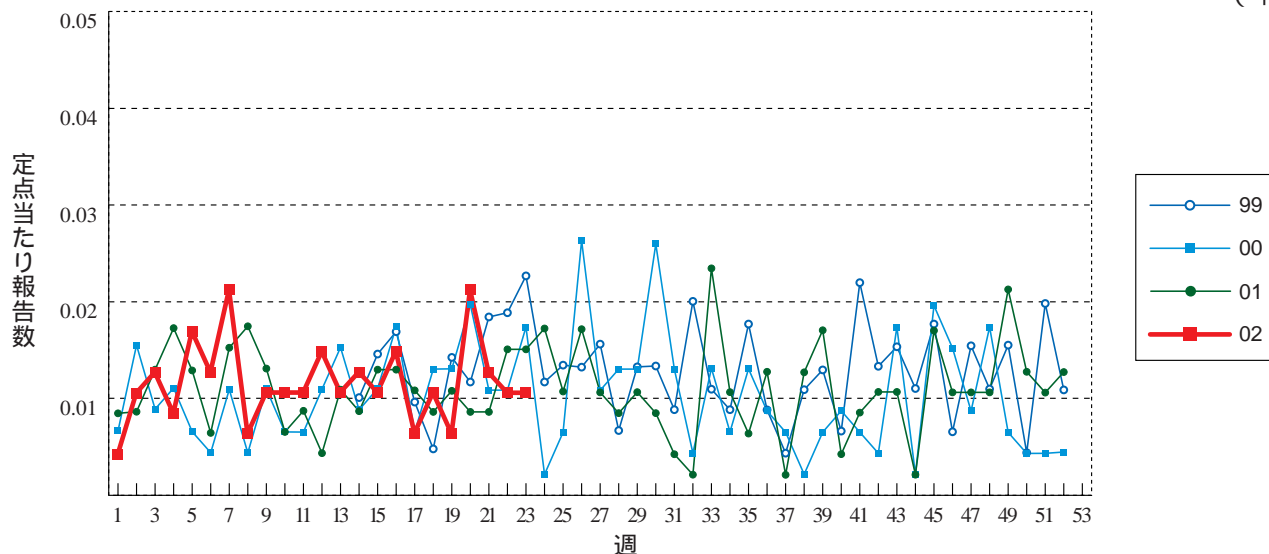
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



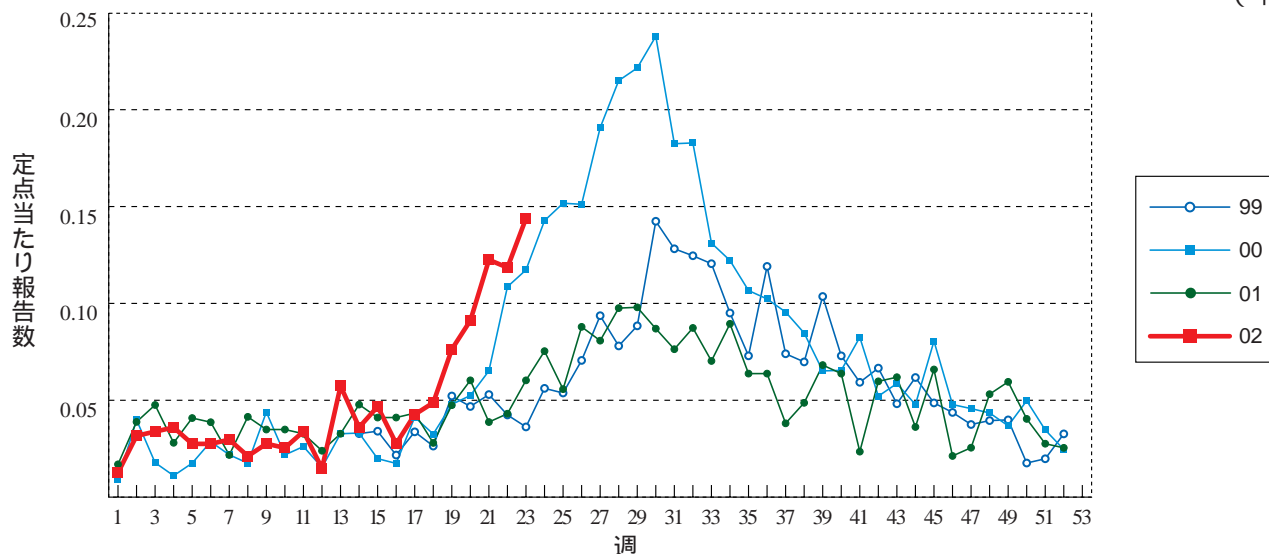
細菌性髄膜炎

(年)



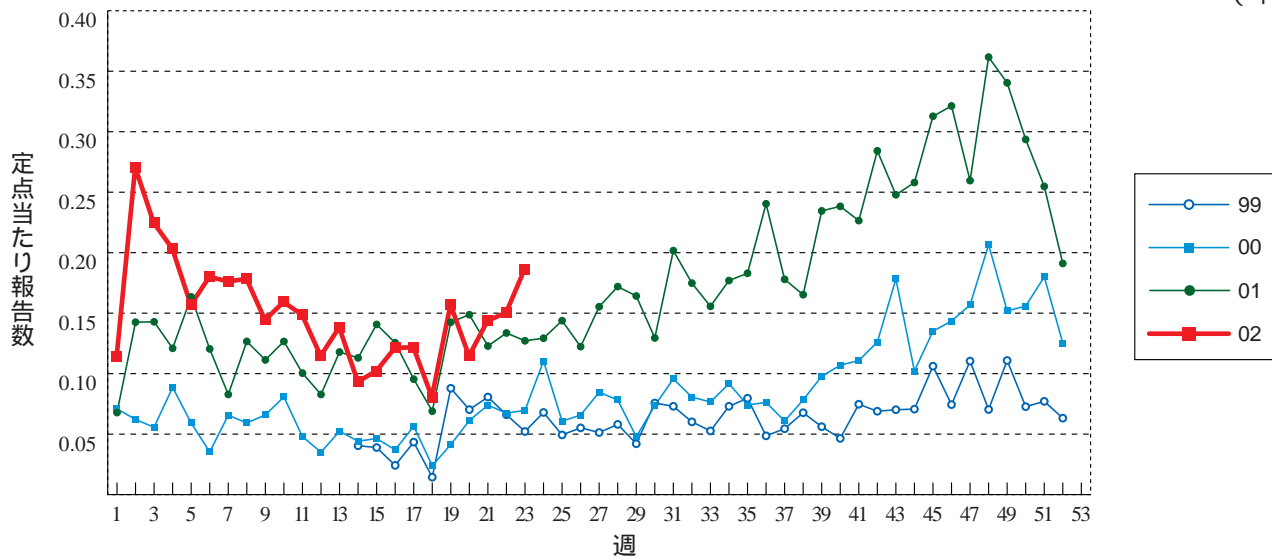
無菌性髄膜炎

(年)



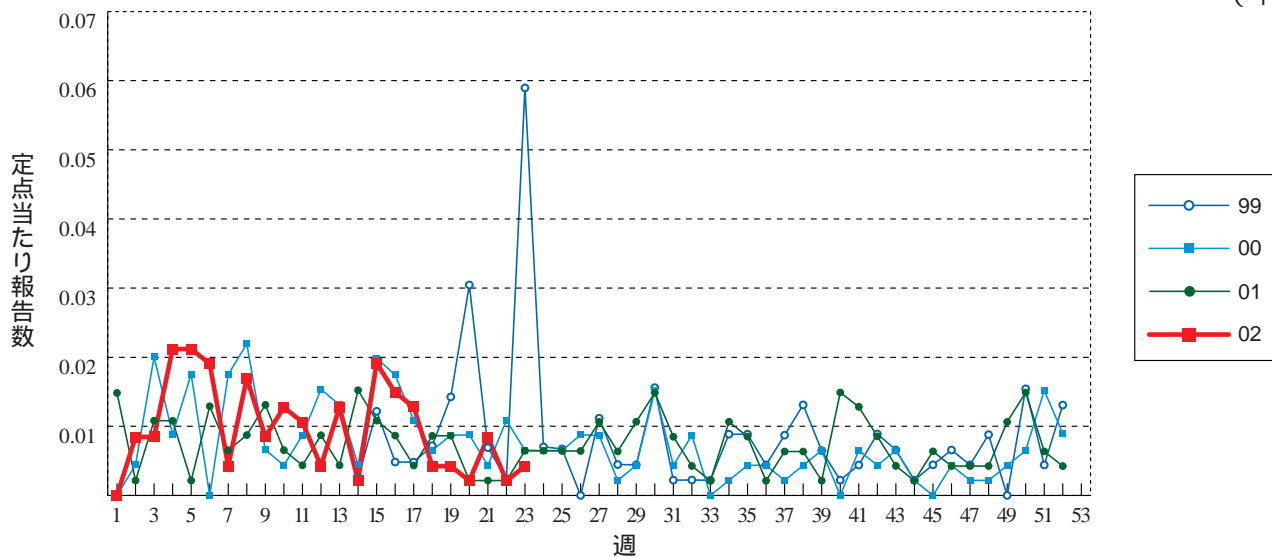
マイコプラズマ肺炎

(年)



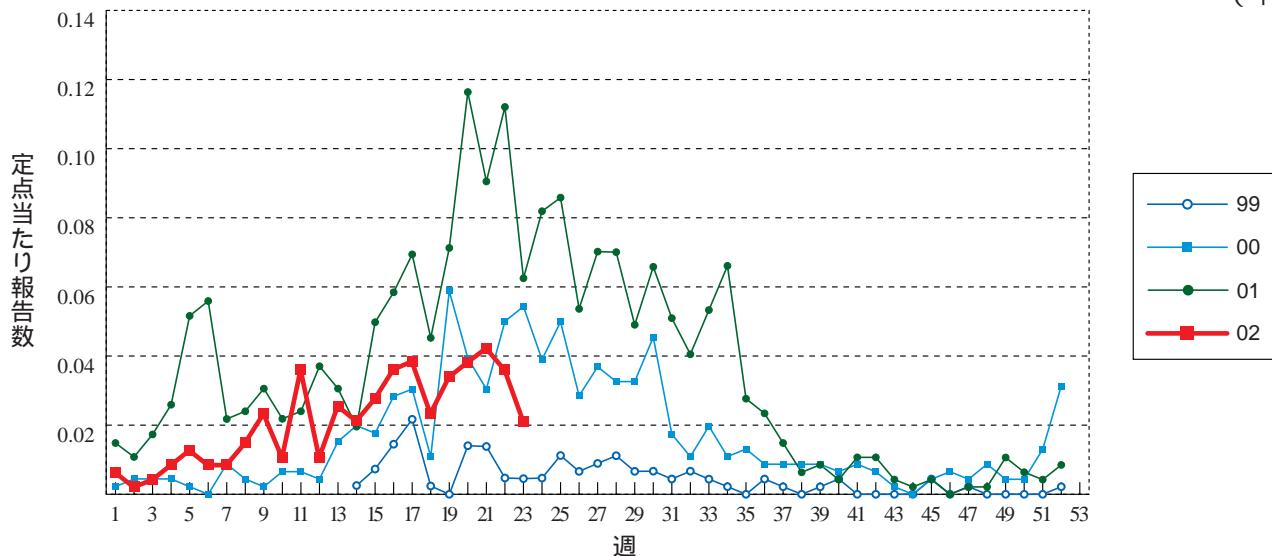
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





23週のデータ

注)表中の報告数は6月14日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年23週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		バラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	18	383	1	29	1	16		
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	1	-	-		
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	1	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-		
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	30	-	1	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-		
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-		
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-		
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-		
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	65	-	-	-	-		
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	4	40	1	12	1	7		
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	3	-	-		
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-		
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	-		
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	6	-	-	-	-		
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	22	-	-	-	1	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	1	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	7	-	-	-		
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	-	-	-	1	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	1	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	3	-	2		
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	5	-	3	-	-		
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-		
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-		
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-		
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13	-	3	-	-		
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-		
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28	-	-	-	-		
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-		
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-		
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年23週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	49	627	4	193	-	4	-	-	-	36	-	-	18	515
北海道	-	-	-	-	-	9	-	8	-	4	-	-	-	3	-	-	1	10
青森県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
岩手県	-	-	-	-	-	6	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
宮城県	-	-	-	-	1	12	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26
秋田県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
山形県	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	13
福島県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
栃木県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
群馬県	-	-	-	-	1	12	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
埼玉県	-	-	-	-	1	5	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21
千葉県	-	-	-	-	3	8	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	1	28
東京都	-	-	-	-	2	20	-	45	-	-	-	-	-	2	-	-	3	100
神奈川県	-	-	-	-	-	25	1	15	-	-	-	-	-	-	-	-	1	25
新潟県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	1	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	3	29	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
福井県	-	-	-	-	2	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
岐阜県	-	-	-	-	1	4	-	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	13
静岡県	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	1	18
愛知県	-	-	-	-	3	27	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	25
三重県	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
京都府	-	-	-	-	2	22	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15
大阪府	-	-	-	-	5	68	1	31	-	-	-	-	-	3	-	-	2	29
兵庫県	-	-	-	-	1	86	-	9	-	-	-	-	-	2	-	-	2	24
奈良県	-	-	-	-	1	17	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
和歌山県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
鳥取県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	3	42	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10
広島県	-	-	-	-	3	16	-	2	-	-	-	-	-	8	-	-	-	9
山口県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	17
徳島県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
香川県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
高知県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福岡県	-	-	-	-	5	23	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
佐賀県	-	-	-	-	2	45	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	3	18	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
宮崎県	-	-	-	-	2	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
鹿児島県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
沖縄県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成14年23週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプト スポリジウム症		クロイツフェルト ・ヤコブ病		劇症型溶血性 レンサ球菌感染症		後天性 免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	22	-	-	-	98	-	58	-	44	17	346	-	2	2	50	-	-
北海道	-	1	-	-	-	34	-	1	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	7	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	20	-	-	-	3	-	-
東京都	-	18	-	-	-	2	-	3	-	4	9	141	-	-	1	27	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	21	-	-	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	3	-	-	-	2	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	10	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	4	3	19	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	6	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	1	33	-	1	-	4	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	61	-	3	-	4	-	6	-	-	-	1	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	1	2	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年23週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風疹症候群		炭疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児ボツリヌス症		梅毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	2	-	-	-	-	1	102	1	24	-	1	-	-	-	-	1	219
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
青森県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
山形県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	4	-	7	-	-	-	-	-	-	1	23
神奈川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	11
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
静岡県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	9
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	40
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	20	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成14年23週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	2	33	-	16	-	-	-	-	-	1	-	-	1	36	-	1	1	41
北海道	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
千葉県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
東京都	-	2	-	3	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	-	-	6
神奈川県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	5
兵庫県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
広島県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大分県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
鹿児島県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年23週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	1090	0.23	454	0.15	4491	1.48	12637	4.16	7700	2.53	2303	0.76	2022	0.67	2495	0.82	30	0.01
北海道	63	0.27	18	0.12	410	2.83	385	2.66	356	2.46	52	0.36	50	0.34	74	0.51	-	-
青森県	97	1.49	16	0.38	30	0.71	89	2.12	79	1.88	21	0.50	59	1.40	17	0.40	-	-
岩手県	210	3.39	2	0.05	40	1.05	88	2.32	95	2.50	17	0.45	2	0.05	14	0.37	-	-
宮城県	106	1.09	6	0.10	96	1.63	421	7.14	188	3.19	39	0.66	53	0.90	77	1.31	1	0.02
秋田県	68	1.24	1	0.03	43	1.23	140	4.00	75	2.14	10	0.29	43	1.23	21	0.60	1	0.03
山形県	50	1.04	4	0.13	83	2.77	158	5.27	161	5.37	14	0.47	15	0.50	18	0.60	3	0.10
福島県	26	0.33	-	-	58	1.26	287	6.24	202	4.39	58	1.26	46	1.00	42	0.91	-	-
茨城県	2	0.02	2	0.03	71	0.96	198	2.68	160	2.16	78	1.05	72	0.97	33	0.45	2	0.03
栃木県	-	-	1	0.02	70	1.52	144	3.13	88	1.91	21	0.46	92	2.00	32	0.70	-	-
群馬県	-	-	17	0.27	95	1.53	190	3.06	130	2.10	18	0.29	62	1.00	54	0.87	-	-
埼玉県	10	0.04	50	0.31	347	2.18	845	5.31	570	3.58	119	0.75	112	0.70	172	1.08	1	0.01
千葉県	-	-	14	0.11	246	1.86	555	4.20	433	3.28	90	0.68	57	0.43	113	0.86	-	-
東京都	-	-	5	0.04	113	0.80	413	2.91	233	1.64	124	0.87	84	0.59	87	0.61	-	-
神奈川県	2	0.01	35	0.17	231	1.12	768	3.73	493	2.39	328	1.59	147	0.71	248	1.20	-	-
新潟県	89	0.90	36	0.60	78	1.30	295	4.92	171	2.85	22	0.37	60	1.00	50	0.83	-	-
富山県	-	-	1	0.03	74	2.55	169	5.83	121	4.17	16	0.55	31	1.07	14	0.48	-	-
石川県	1	0.02	3	0.10	45	1.55	165	5.69	130	4.48	18	0.62	37	1.28	12	0.41	-	-
福井県	-	-	6	0.27	56	2.55	120	5.45	76	3.45	4	0.18	10	0.45	8	0.36	-	-
山梨県	6	0.15	-	-	48	1.92	48	1.92	37	1.48	-	-	15	0.60	8	0.32	-	-
長野県	5	0.06	15	0.28	143	2.65	298	5.52	194	3.59	14	0.26	86	1.59	53	0.98	1	0.02
岐阜県	1	0.01	-	-	49	1.04	129	2.74	148	3.15	11	0.23	32	0.68	28	0.60	-	-
静岡県	-	-	7	0.08	142	1.65	411	4.78	212	2.47	84	0.98	105	1.22	86	1.00	-	-
愛知県	-	-	11	0.06	216	1.19	625	3.43	369	2.03	196	1.08	84	0.46	131	0.72	1	0.01
三重県	-	-	8	0.18	71	1.58	269	5.98	102	2.27	14	0.31	48	1.07	48	1.07	1	0.02
滋賀県	3	0.06	26	0.81	21	0.66	136	4.25	105	3.28	12	0.38	11	0.34	18	0.56	-	-
京都府	11	0.09	6	0.08	97	1.28	593	7.80	135	1.78	8	0.11	34	0.45	37	0.49	1	0.01
大阪府	12	0.04	39	0.20	265	1.36	817	4.19	395	2.03	147	0.75	103	0.53	157	0.81	-	-
兵庫県	2	0.01	41	0.32	155	1.21	688	5.38	420	3.28	105	0.82	97	0.76	99	0.77	3	0.02
奈良県	-	-	-	-	46	1.31	158	4.51	64	1.83	34	0.97	46	1.31	22	0.63	3	0.09
和歌山県	-	-	4	0.13	23	0.74	105	3.39	74	2.39	48	1.55	17	0.55	25	0.81	3	0.10
鳥取県	5	0.17	5	0.26	27	1.42	126	6.63	72	3.79	15	0.79	29	1.53	23	1.21	-	-
島根県	13	0.34	2	0.09	15	0.65	61	2.65	33	1.43	78	3.39	11	0.48	10	0.43	-	-
岡山県	3	0.04	5	0.09	23	0.43	146	2.70	97	1.80	55	1.02	11	0.20	29	0.54	3	0.06
広島県	-	-	14	0.19	57	0.76	245	3.27	162	2.16	37	0.49	24	0.32	57	0.76	1	0.01
山口県	19	0.27	5	0.10	98	2.00	236	4.82	154	3.14	9	0.18	53	1.08	53	1.08	-	-
徳島県	15	0.39	3	0.13	28	1.22	63	2.74	55	2.39	8	0.35	14	0.61	16	0.70	-	-
香川県	3	0.06	-	-	42	1.31	137	4.28	65	2.03	95	2.97	8	0.25	21	0.66	1	0.03
愛媛県	-	-	8	0.21	102	2.62	168	4.31	100	2.56	7	0.18	46	1.18	27	0.69	-	-
高知県	-	-	5	0.16	46	1.48	72	2.32	42	1.35	84	2.71	14	0.45	14	0.45	1	0.03
福岡県	40	0.20	12	0.10	250	2.08	607	5.06	389	3.24	38	0.32	28	0.23	162	1.35	2	0.02
佐賀県	-	-	2	0.09	40	1.74	32	1.39	40	1.74	3	0.13	7	0.30	30	1.30	-	-
長崎県	17	0.24	-	-	26	0.59	130	2.95	44	1.00	-	-	28	0.64	21	0.48	1	0.02
熊本県	9	0.12	6	0.12	98	2.00	207	4.22	119	2.43	2	0.04	13	0.27	76	1.55	-	-
大分県	2	0.03	1	0.03	67	1.86	202	5.61	88	2.44	5	0.14	5	0.14	54	1.50	-	-
宮崎県	2	0.03	3	0.08	54	1.46	234	6.32	78	2.11	13	0.35	13	0.35	42	1.14	-	-
鹿児島県	26	0.27	9	0.15	51	0.85	243	4.05	97	1.62	10	0.17	6	0.10	53	0.88	-	-
沖縄県	172	2.97	-	-	5	0.15	21	0.62	49	1.44	122	3.59	2	0.06	9	0.26	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成14年23週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	140	0.05	4006	1.32	429	0.14	4728	1.56	24	0.04	820	1.29	1	0.00	5	0.01	68	0.14
北海道	2	0.01	8	0.06	3	0.02	129	0.89	-	-	38	1.31	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	17	0.40	37	0.88	87	2.07	-	-	12	1.09	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	39	1.03	4	0.11	101	2.66	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	22	0.37	11	0.19	229	3.88	-	-	3	0.27	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	19	0.54	6	0.17	78	2.23	1	0.14	2	0.29	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	37	1.23	1	0.03	163	5.43	-	-	15	1.88	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	23	0.50	18	0.39	136	2.96	-	-	15	1.25	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	105	1.42	13	0.18	65	0.88	-	-	64	4.00	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	41	0.89	1	0.02	116	2.52	1	0.08	21	1.75	-	-	-	-	-	-
群馬県	1	0.02	81	1.31	6	0.10	97	1.56	-	-	55	3.93	-	-	-	-	-	-
埼玉県	5	0.03	134	0.84	15	0.09	154	0.97	-	-	57	1.63	-	-	-	-	-	-
千葉県	15	0.11	249	1.89	50	0.38	180	1.36	1	0.03	38	1.09	-	-	-	-	-	-
東京都	1	0.01	203	1.43	17	0.12	108	0.76	-	-	23	1.64	-	-	-	-	-	-
神奈川県	1	0.00	227	1.10	13	0.06	210	1.02	-	-	69	1.64	-	-	1	0.09	-	-
新潟県	-	-	248	4.13	5	0.08	165	2.75	-	-	5	0.56	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	58	2.00	6	0.21	92	3.17	1	0.14	12	1.71	-	-	-	-	-	-
石川県	1	0.03	71	2.45	3	0.10	24	0.83	-	-	4	0.57	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	16	0.73	3	0.14	7	0.32	-	-	4	1.33	-	-	-	-	8	1.33
山梨県	-	-	-	-	4	0.16	77	3.08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	20	0.37	4	0.07	103	1.91	2	0.20	27	2.70	-	-	1	0.09	1	0.09
岐阜県	-	-	15	0.32	28	0.60	55	1.17	-	-	9	0.82	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	106	1.23	23	0.27	132	1.53	-	-	6	0.30	-	-	-	-	-	-
愛知県	1	0.01	227	1.25	62	0.34	223	1.23	-	-	14	0.40	-	-	-	-	-	-
三重県	2	0.04	43	0.96	6	0.13	71	1.58	1	0.08	16	1.33	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	3	0.09	5	0.16	6	0.19	49	1.53	-	-	14	2.00	-	-	-	-	4	0.57
京都府	5	0.07	27	0.36	2	0.03	53	0.70	-	-	19	1.06	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	3	0.02	310	1.59	8	0.04	149	0.76	4	0.08	23	0.44	-	-	-	-	2	0.13
兵庫県	2	0.02	204	1.59	14	0.11	174	1.36	2	0.06	32	0.89	-	-	-	-	5	0.38
奈良県	-	-	42	1.20	5	0.14	55	1.57	-	-	8	0.89	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	2	0.06	12	0.39	3	0.10	62	2.00	-	-	12	3.00	-	-	-	-	2	0.18
鳥取県	-	-	38	2.00	1	0.05	44	2.32	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.60
島根県	-	-	31	1.35	5	0.22	41	1.78	-	-	2	0.67	-	-	-	-	1	0.13
岡山県	10	0.19	42	0.78	16	0.30	129	2.39	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
広島県	4	0.05	142	1.89	2	0.03	101	1.35	-	-	16	0.80	1	0.05	1	0.05	7	0.33
山口県	1	0.02	83	1.69	-	-	77	1.57	-	-	19	2.11	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	17	0.74	-	-	55	2.39	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.17
香川県	-	-	20	0.63	2	0.06	27	0.84	2	0.67	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	98	2.51	-	-	78	2.00	1	0.14	26	3.71	-	-	-	-	1	0.17
高知県	1	0.03	19	0.61	2	0.06	24	0.77	-	-	9	3.00	-	-	-	-	11	1.38
福岡県	65	0.54	342	2.85	4	0.03	149	1.24	2	0.08	32	1.23	-	-	-	-	-	-
佐賀県	1	0.04	92	4.00	3	0.13	32	1.39	-	-	1	0.25	-	-	-	-	3	0.50
長崎県	3	0.07	54	1.23	-	-	66	1.50	4	0.50	13	1.63	-	-	-	-	-	-
熊本県	5	0.10	140	2.86	5	0.10	32	0.65	-	-	18	2.00	-	-	-	-	5	0.33
大分県	2	0.06	81	2.25	8	0.22	113	3.14	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	135	3.65	2	0.05	201	5.43	-	-	11	2.75	-	-	1	0.14	9	1.29
鹿児島県	1	0.02	60	1.00	-	-	136	2.27	1	0.17	11	1.83	-	-	-	-	2	0.17
沖縄県	1	0.03	3	0.09	2	0.06	79	2.32	1	0.10	18	1.80	-	-	1	0.14	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成14年23週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	88	0.19	2	0.00	10	0.02
北海道	2	0.09	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	2	0.40
岩手県	1	0.05	-	-	-	-
宮城県	9	0.75	-	-	-	-
秋田県	3	0.38	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-
埼玉県	2	0.22	-	-	-	-
千葉県	1	0.08	-	-	-	-
東京都	2	0.08	-	-	1	0.04
神奈川県	-	-	-	-	2	0.18
新潟県	6	0.46	-	-	-	-
富山県	2	0.40	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	1	0.20
福井県	-	-	-	-	-	-
山梨県	3	0.30	2	0.20	-	-
長野県	2	0.18	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.10	-	-	-	-
愛知県	3	0.23	-	-	3	0.23
三重県	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	4	0.57	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.07	-	-	-	-
兵庫県	5	0.38	-	-	-	-
奈良県	2	0.33	-	-	-	-
和歌山県	3	0.27	-	-	-	-
鳥取県	1	0.20	-	-	-	-
島根県	4	0.50	-	-	-	-
岡山県	1	0.20	-	-	-	-
広島県	6	0.29	-	-	-	-
山口県	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	2	0.33	-	-	-	-
高知県	3	0.38	-	-	-	-
福岡県	2	0.13	-	-	-	-
佐賀県	1	0.17	-	-	-	-
長崎県	5	0.42	-	-	-	-
熊本県	4	0.27	-	-	-	-
大分県	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	2	0.17	-	-	-	-
沖縄県	3	0.43	-	-	-	-

感染症週報 第4巻、第23号 平成14年6月21日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生労働省健康局結核感染症課
 厚生労働省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhlw.go.jp/>
 <厚生労働省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。